

鈴木 綾

Aya Suzuki

NPO法人工エスプリローブ代表理事
アトリエエスプリローブ代表／服飾デザイナー

日本は戦後から洋服文化が定着しました。はじめはオーダーメイドで個人に合わせた服でしたが、現在では同サイズ同デザインの服が大量生産される既製服の時代となりました。数多くのアパレル衣料が流通し、作っても売り切ることが出来ずに廃棄される衣服が溢れかえる状況においても、自分が着たい服かつ自分の身体に合う服が見つからず、満足に装うことが出来ない人々がいます。



好きなものを身に付けられないことが続くことで、心はいつしか閉ざしてしまい夢も目標も抱けない精神状態に陥る人がいることを知り、服作りの仕事をしていた私は解決できる服作りの活動を始めました。10年目に入った昨年、様々な社会的孤立を防ぐための活動を行なうNPO法人工エスプリローブを設立しました。

①身体も心も満足な装いの実現

どういう人になりたいのか、何に困っているのか、話を伺いながらデザインから製造まで一貫して行います。ご自分の装いを考えるやり取りをしていく過程で夢や目標が広がりその後の生活まで変化していかれます。

②アダプティブファッショントデザインスクール

就学が困難な障害のある方や、働くことが出来ず学ぶための費用を準備できない方の為のファッショントデザインスクールを開講しました。ファッションの基礎知識、商品企画を学びます。来年度はさらに内容を充実させる計画です。

③雇用を作るための活動

障害のある方や親の介護など外出が困難な方は就労が難しい状況にあります。様々な働き方が可能になることを実証できる仕組みを構築します。

介護の世界に身を置きたく、しばらく認知症の方々の施設でケアワーカーとして勤務していました。そこには、自分の中でも家族の中でも分らなくなってしまった高齢の方が、お世話をしてもらうばかりではなく、「役に立って生きたい」と過ごされている姿が沢山ありました。そして、私の周りの障害のある仲間たちも、誰もが誰かのために生きたいと願っています。みんなが幸福に生きる社会を作るためにこれからも活動を頑張ってまいります。

一般財団法人タカラ杉山社会福祉会協賛

一般社団法人 日本アピアランスセラピー協会
～美容を通じて心を元気にし、共に明かるい社会を創ります～